

特別上映会、ぜひお越しください！

# たまシネマ 通信



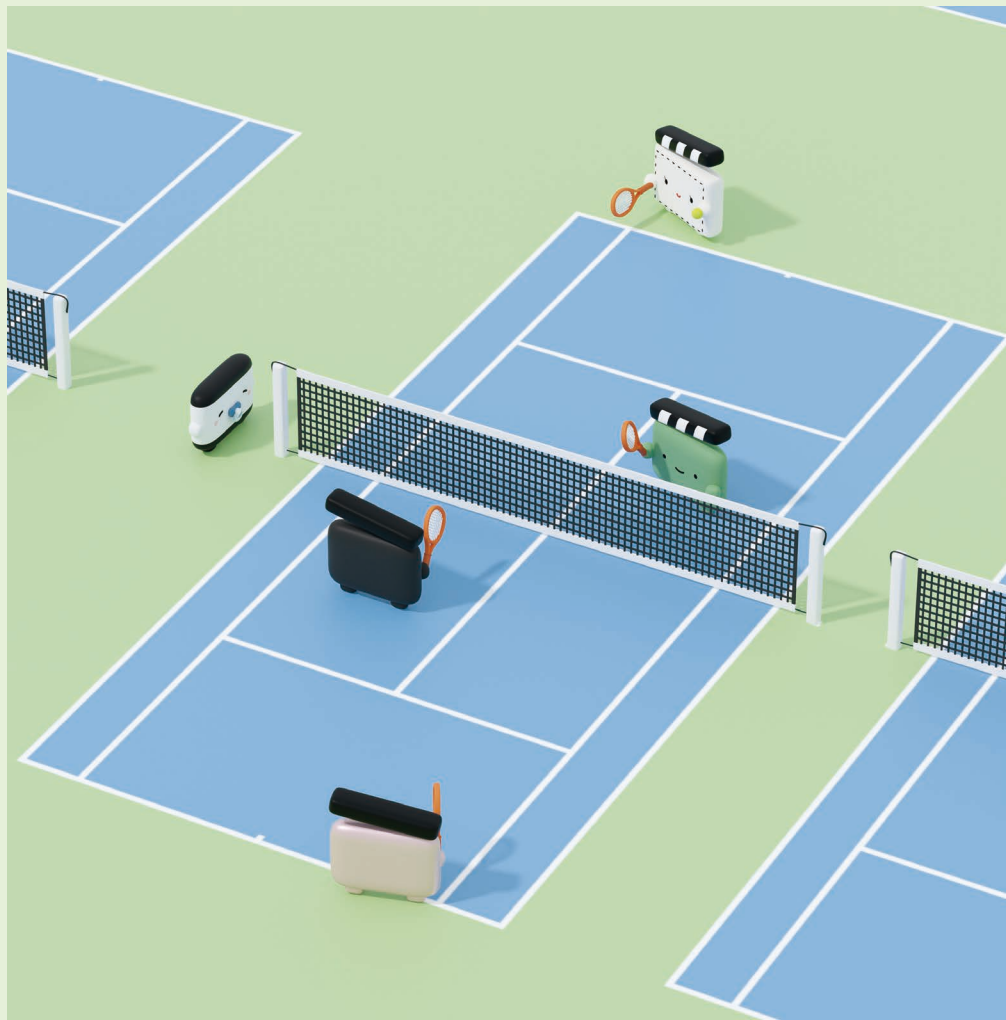
TAMA CINEMA FORUM

TAMA 映画フォーラム実行委員会

〒206-0025 多摩市永山 1-5 ベルブ永山（永山公民館内）

代表：042-337-6661 直通：080-5450-7204 <https://www.tamaeiga.org/>

夏号 2023年6月17日発行



⇨ CONTENTS ⇨

・豪華ゲスト来場！ 特別上映会レポート！

・TCF実行委員 これが私の推し映画！

豪華ゲスト  
来場！

# 特別上映会 レポート

2023年  
2月・3月・5月

## 2/18(土) 『劇場版 荒野に希望の灯をともし』

アフガニスタンで凶弾に倒れた中村哲医師の名前は知っている人は多いと思うけど、その人となりを広く知って欲しいというのが上映会を企画した思いでした。中村医師を25年に亘ってカメラで追った谷津賢二監督をゲストにお迎えできればとお声がけたところ、谷津監督が多摩市在住ということがわかり、大変好意的にご対応くださって、4回の上映すべてでトークを行っていただきました。各回大盛況で、上映後のアンケートでも、「中村さんの生き方に感動した」「命・平和・人のために何をすべきなのか学ぶことができました」「監督のトークから中村さんのお人柄がよくわかった」など感謝の言葉が多数寄せられて、主催者冥利に尽きました。(JJJ)

## 3/25(土) 『ぼけますから、よろしくお願ひします。 ～おかえり お母さん～』

2019年に上映した前作同様続編の本作も多数のお客様に観ていただき、ありがとうございました。信友直子監督によるトークやサイン会、「呉市観光協会・NPO法人呉サポートセンター」様のご協力で配布させていただいた「信友家が暮らす呉を歩こう」マップなどを通じて、作品理解の深掘りや監督とお客様との交流を図ることができました。お陰様でアンケートで多くのよかったという声をいただきました。一例を紹介しますと「すばらしい映画でした。直子さんの舞台挨拶が更に良かった。夫婦愛はもちろん、親子の愛、そして家族の愛を感じました。お父様の健やかな日々をお祈り申し上げます」監督には続きを製作していただき、また上映したいと強く思いました。(LS)

## 5/6(土) 『マイスマールランド』

在日クルド人の少女が在留資格を失ったことをきっかけに自身の居場所に葛藤する姿を描いた2022年作品、公開からちょうど1年の5月6日に上映しました。多数の映画賞を受賞された川和田恵真監督、主演の嵐莉菜さんのトーク付きプログラムとして開催。トークの進行役の映画パーソナリティの伊藤さとりさんには、映画の魅力、川和田監督、嵐さんの魅力、撮影裏話なども引き出して頂きました。23区など広域から多様な年代のお客様にお越し頂き、トーク、抽選プレゼント、撮影タイム、サイン会などにより、「見る人、見せる人、作る人」の交流の場、まさにフォーラムを実現出来ました。アンケートでは、作品への賞賛、トークに対する満足の声などを頂き、社会問題への関心の高さも感じました。(うつしびと にっしい)



# TCF実行委員 これが私の**推し**映画!!

## 『花とアリス』（2004年／監督：岩井俊二）

この映画を初めて観たのは確か20歳の頃だったと思うのですが、映像の美しさ、音楽の心地良さが私の琴線に触れ、蒼井優さんになりたかった当時の私は、サントラを聴きながら散歩をしたりして作品の世界観に浸っていました。（後に骨格も顔のタイプも全く蒼井優さんとは違うと気付き諦める。）ストーリーは二人の高校生、花とアリスの嘘から始まる恋愛の三角関係を描いたものですが、少女の無邪気さや瑞々しさ、儂さが詰まっており、まさに青春！といった感じで、ノスタルジックな気持ちになります。（女子校出身の私には、こんな青春は無かったのですが。）私が特に好きなのは、アリスが離れて暮らす父親とお出かけに行くシーン。思春期故、父親にそっけなくしてしまうアリスが、別れの時に見せる寂しそうな表情に心が打たれます。また、この作品はバレエのシーンが印象的ですが、中でも岩井俊二監督作品の特徴でもある柔らかい光に包まれながら、紙コップのトゥシューズを履いて踊る蒼井優さんがとても美しいので、まだこの作品を観たことがない方は是非観ていただきたいです。（TD）

## 『荒野の決闘』（1947年／監督：ジョン・フォード）

いちばん好きな映画は何？ と聞かれると困ります。大好きな映画はたくさんあって、1本に絞れないからです。けれど歳を重ねた今は、『荒野の決闘』がいちばん好き、と迷わず答えます。物語の軸は西部開拓史上に名高いOK牧場の決闘で、保安官ワイアット・アープや流れ者ドク・ホリデイは実在の人物です。けれど映画はまるで一篇の「詩」のようです。青空に浮かぶ雲の美しさはどうでしょう（白黒映画なのに）。荒野に建てた教会に村人が集うとき、あたりは春の空気に包まれます。また本作は、西部劇の形を借りた恋愛映画です。保安官アープは、ドクの恋人クレメンタインに恋をします。秘めた恋がつかなくて、酒場でバーテンに「恋をしたことはあるか」と尋ねるのです。そしてラストシーン。決闘を終えて町を去るアープは、勇気を奮ってクレメンタインに愛を伝えます。ただし、さりげなく、絶望的なまでに遠回しな表現で……。

公開から36年後の1983年、この映画は再上映されました。そのとき題名は『いとしのクレメンタイン～荒野の決闘』に改められていました。（三）

## 『走れ！走れ走れメロス』（2022年／監督：折口慎一郎）

全校生徒70数名の島根県で一番小さな高校を舞台に、演劇同好会として初めて演劇に触れた4人の生徒と顧問の先生の姿を追ったドキュメンタリー。顧問の先生に誘われた4人の生徒たちは「走れメロス」を原作とした朗読劇「走れ！走れ走れメロス」で高校生演劇コンクールに出場することになる。だが、時はコロナ禍真っ只中の2021年。地区予選は無観客での開催になってしまう。そして彼らはその地区予選であっさりと敗退する。彼らの演劇は誰にも観られずにこのまま終わってしまうのか。映画の中で彼らは叫ぶ。「満席の劇場で演劇した—————い」。彼らの望みは叶うのか。そして演劇の神様は決して彼らを見捨てなかったのである。その後の予想だにしない展開はぜひ映画で見てもらいたいと思う。2023年3月、下北沢の劇場で「卒業式」と題した上演会のなか、彼らの「走れ！走れ走れメロス」の演目も上演された。トリウッドで映画を観てからはしごでその舞台も観た。素晴らしかった。そしてもちろん客席は満員であった。メロスは間に合ったのである。（よ）

## TCF公式キャラクター・かちんこくん グッズ販売中!

TCF公式キャラクター かちんこくと仲間たちのグッズが登場! 特別上映会や映画祭の会場で販売しています。TCFで映画を楽しんだ思い出にぜひお持ち帰りください!



・かちんこファミリー  
ステッカー / ¥300

・缶バッジ(TCFロゴ/  
かちんこくん) / 各¥200

・アクリルスタンド / ¥500

よろしくね!



### ✓ TCF からのお知らせ

#### 映画祭 TAMA CINEMA FORUM 公式 YouTube チャンネル

映画祭 TAMA CINEMA FORUM 公式 YouTube チャンネルでは、映画祭プログラムや特別上映会でのトークの様や、「たまシネマ通信 on Radio」など、映画祭にまつわる動画コンテンツを公開中です。今後も TCF ならではのコンテンツをアップロードしていきます。みなさまぜひチャンネル登録をよろしくお願いたします!

映画祭 TAMA CINEMA FORUM : 公式チャンネル  
<https://www.youtube.com/c/tamaeiga-official/featured>



#### 支援会員さまを募集しています!

当映画祭を資金面でサポートいただける支援会員さまを募集しています。支援会員さま限定の特典をさまざまご用意しております。詳細はホームページにて。

<https://www.tamaeiga.org/support/>

【支援金寄付 個人会員】一口 1,000 円から  
郵便振替番号 00160-5-541123  
加入者名 TAMA映画フォーラム実行委員会

TCF の最新情報やお問い合わせはこちらから

WEB [www.tamaeiga.org](http://www.tamaeiga.org) (TAMA 映画フォーラム実行委員会ホームページ)

SNS @tamaeiga (TAMA 映画フォーラム【公式】)

f [www.facebook.com/tamaeiga](https://www.facebook.com/tamaeiga)

ig [tama\\_cinema\\_forum](https://www.instagram.com/tama_cinema_forum)

t [tamaeiga](https://www.tamaeiga.org)



たまシネマ通信 2023 年夏号 (2023/6/17 発行)

発行元: TAMA 映画フォーラム実行委員会 〒206-0025 多摩市永山 1-5 ベルブ永山 (永山公民館内)

編集・デザイン: TAMA 映画フォーラム会報部会 / 企画・協力: TAMA 映画フォーラム実行委員会

※掲載写真の権利は TAMA CINEMA FORUM に帰属します。※無断転載を禁じます